

授業科目名	仏教学入門	担当形態	講義		
		開講学期	秋学期		
担当教員	福田 琢	単位	2	年次	1

＝授業のテーマ及び到達目標＝

釈尊の生涯と思想についての知識を身につけ、同朋精神を理解する。

＝履修の条件と学習の方法＝

条件は特にない。予習はテキストに前もって目を通しておく程度でよい。毎週、講義ノートを取り、それをまとめ、復習すること。授業中の私語は厳禁。

＝授業の概要＝

本学は親鸞の同朋精神を建学の理念としています。その親鸞の精神を培ったのが、インドに発祥し、中国を経由して我が国に伝えられた仏教です。

この授業では仏教の開祖である釈尊（しゃくそん）の生涯と思想について学びます。釈尊は、今から 2500 年ほど前にインド・ネパール国境付近にあったシャークャ族（釈迦族）の国に王子として生まれましたが、やがて国を後にして長い放浪の旅に出て、「ブッダ」（めざめた人）と呼ばれる宗教家となりました。

かれはなぜ王子の身分を捨てたのか。放浪の果てに何を見出したのか。仏教の始まりとなった人の生涯とその思想に「同朋精神」の原点をたずねます。

＝授業計画＝

1. 釈尊とは
2. 仏教は宗教か
3. 古代インド社会
4. 誕生と少年時代
5. 出家にまつわる伝承
6. 苦行・断食・瞑想
7. さとりを得る
8. 釈尊の根本思想
9. 梵天勧請
10. 初転法輪
11. 教団の拡大
12. 仏弟子たち
13. 最後の旅
14. 入滅
15. まとめ

＝テキスト（必携）＝

第一回目の授業で配布

＝参考書・参考資料（必携）＝

特にない（授業中に指示）

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業中、定期的に授業内容に関する小レポート提出を課し（全4回を予定）その得点をもとに(8割程度)出席点(2割程度)を加味して成績を出します。詳しくは初回授業にて説明します。

＝その他＝